

大阪大学・金沢大学・浜松医科大学  
連合小児発達学研究科教授会記録

日 時 平成21年 7月22日(水) 午後3時～午後3時17分  
場 所 各校講義室にて遠隔講義システムにより開催  
出席者 (大阪校) 遠山研究科長、片山教授、谷池教授、永井教授、畑澤教授  
(金沢校) 浅野教授、大井教授、柴教授、東田教授、三邊教授  
(浜松校) 尾内教授、大関教授、武井教授、鳥塚教授、森教授 (計15名)  
欠席者 (大阪校) 井村教授、大菌教授 (金沢校) 小泉教授 (計3名)  
※ 研究科長の他、五十音順 [合計18名]

議 事

◇ 議事に先立ち、研究科長から7月4日(土)に開催した研究科開設記念シンポジウム及び記念式典・祝賀会について謝辞が述べられた後、前回教授会記録の確認があった。

【協議事項】

1. 大阪大学大学院医学系研究科附属子どものころの分子統御機構研究センターの設置換えについて  
研究科長から、大阪大学大学院医学系研究科附属子どものころの分子統御機構研究センターを、平成22年4月をもって本研究科附属としたい旨提案があり、審議の結果、これを承認した。  
なお、今後、大阪大学大学院医学系研究科教授会(医学科会議)に、設置換えの申し入れを行い、承認後は、教育研究評議会及び役員会等を経て、正式に設置換えが承認される予定あることが説明された。
2. 大阪大学大学院大阪大学・金沢大学・浜松医科大学連合小児発達学研究科大阪校における招へい教員等の受入れ基準について  
研究科長から、大阪大学招へい教員等の受入れに際しては、教授会において受入れ基準を定める必要があり、また、大阪大学において発令等を伴うため、大阪校のみの制度として、配付資料のとおり受入れ基準を定めた旨説明があり、審議の結果、これを承認した。  
なお、金沢校・浜松校において、招へい教員等と同様の者を受入れる場合は、各連携大学の制度によりそれぞれ受入れを行い、教授会の審議を経て、本研究科の教育研究活動に携わることを確認した。
3. 入試担当教員の変更について  
研究科長から、大阪校入試担当教員の松崎准教授が海外研修中であるため、松崎准教授から片山教授に変更したい旨説明があり、審議の結果、これを承認した。
4. 評価担当教員の選出について  
研究科長から、本研究科が(独)大学評価・学位授与機構が実施する中期目標期間における教育研究評価の対象となったこと、及びこれに対する評価体制を整える必要があることが説明され、審議の結果、各校から1名ずつ担当教員を選出することが承認され、後日大阪校事務担当まで報告願うこ

ととなった。

また、評価担当教員については、今後作成する第二期中期計画における部局年度計画の作成も行い、中期計画・中期目標等において作成と評価を一体として担当することとした。

※後日、各校から次の者が担当教員として選出された旨報告があった。

遠山研究科長（大阪校）、大井教授（金沢校）、武井教授（浜松校）

5. 大阪大学大学院大阪大学・金沢大学・浜松医科大学連合小児発達学研究所委託金の配分額について  
研究科長から、標準運営費交付金及び特定運営費交付金については、入学者の各校配属の比率により按分した額を配分すること、但し、特定運営費交付金の内、検定料に係る部分については、入学試験が大阪大学にて実施されることを考慮し、大阪大学に全額配分するが、入学試験に際し各校において経費が生じた場合は、大阪大学が負担すること等が説明され、審議の結果、配付資料のとおり配分額を承認した。

6. 企業等との共同研究の受入れについて  
研究科長から、配付資料により説明があり、審議の結果、1件の受入れを承認した。

7. 奨学寄附金の受入れについて  
研究科長から、配付資料により説明があり、審議の結果、教育研究支援基金に係る奨学寄附金14件の受入れを承認した。

※ 次回以降の教授会日程は、配付資料のとおり。  
（8月は奨学寄附金等の受入れに関して持ち回りにて開催予定。）